

上級サポーターを含めた

「介護予防サポーター育成・活用事例」配布

県地域リハ支援センターでは上級サポーターまで含めて介護予防サポーター制度全体をうまく機能させている事例を集めて「介護予防サポーター育成・活用事例」を作成した。

群馬県の介護予防サポーター育成事業は全国的にも注目の的で、平成 19 年度には老人保健健康増進等事業に「群馬県における介護予防サポーター育成による介護予防意識の普及とその効果の研究」が採択された。これにより介護予防サポーター育成調査検討委員会（山口晴保委員長）が設置され、平成 20 年 3 月に『介護予防サポーター育成マニュアル』が発刊される。しかし、発刊当時は初級、中級サポーターの育成と活用が中心であったということと、もともと上級サポーターの育成や活用は市町村の実情にあわせて行うことになっていたという事情があり、このマニュアルには上級サポーターに関する情報がほとんど含まれていなかった。このため発刊後に「(上級まで含めた)参考になる事例」を知りたいとの声が多く聞かれた。

今回の「介護予防サポーター育成・活用事例」はこうした声に応じて作成した。2月1日の「介護予防まつり in まえばし」の場を利用して開催した「上級サポーター担当者会議」で、配布・説明した。会議には県介護高齢課職員も出席し、活発な意見交換が行われた。



上級研修担当者会議の様相（2月1日）

介護予防サポーター育成事業はますます発展していくと思う。それぞれの地域にあった形で事業を発展させるため本冊子をぜひご活用いただきたい。

（事務局長 浅川康吉）

「介護予防サポーター育成・活用事例」の請求先

群馬県地域リハビリテーション支援センター事務局
〒371-8514 群馬県前橋市昭和町 3-39-15
群馬大学医学部保健学科共用施設棟 6 階 KA6-24
Tel/Fax 027-220-8966 , tsunoday@health.gunma-u.ac.jp